

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：嘉手納町における密集市街地の改善(防災・安全)

事業主体名：嘉手納町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①関連する計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	—
②地域の住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 ① 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 ② 住宅・建築物の安全・安心確保 ク 良好な住環境の整備 ケ 地域の特色ある街並みの整備 コ その他(良好な地域環境の形成、災害時における避難地の役割等)	○
⑤景観形成を図るべき地域として位置づけられている又は位置づけられる予定である。	—
⑥目標が都市再生基本方針と適合している。	—
⑦まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
⑧事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
⑨十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
⑩事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
⑪事業の実施に当たり、福祉施策等との連携、民間活力の活用等が図られている。	—
⑫地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	—
⑬事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	—
III. 計画の実現可能性	
⑭事業熟度が十分である。	○
⑮計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	—
⑯計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
⑰事業の実施に当たり、協議会など地元組織との連携が図られている。	○
⑱計画期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	—
⑲計画について住民等との間で合意が形成されている。	○